

## ▲ ▲ ▲ 二子山西岳中央稜 ▲ ▲ ▲

(報告) F 島

◎山行日：2022年5月22日 ◎メンバー：K井(L)、F島



二子山西岳中央稜山頂 左：K井会員、右：筆者

2019年11月にF野さん、K藤aさん、K藤bさんに連れられて二子山中央稜にトライした以来今回は2回目。その時は強風のため3ピッチまでで終了となりずっと心残りだった。今回は西岳山頂まで抜けて記念写真を撮りたい。二子山エリアに詳しいK井さんに声を掛けさせてもらい決行することになった。

前日は雨で岩が乾くか懸念していた。現地に着くと未明まで雨が降っていたようで股峠周辺のアプローチは泥の状態で酷くぬかるんでいた。途中の祠エリアの岩は部分的に濡れているが、トライしているクライマーが多数いて熱気がすごい。更に奥に進み中央稜取付きに到着。既に取付いているパーティーがいて、2組が待ちの状態であった。肝心の岩は濡れていて、酷い所はポタポタ滴が垂れている。「どうしよう？」登るか諦めるか周囲の状況や先行パーティーを確認しながらK井さんと悩む。空は陽が出たり陰ったりしており、暫く待つ様子を見ることにした。先行パーティーを待つこと1.5~2時間程、幾分岩も乾きコンディションが良くなった。

事前のK井さんからのメールで、「F島さん、全ピッチトップかな？」から始まり、そのご好意に甘えて？(笑)、全6ピッチリードすることとなった。問題は核心の3ピッチ目、岩の状態が気掛かりだ。またこんなコンディションでは先行パーティーも登攀に時間がかかるだろうから途中も待ち時間が多くなるだろう。

1ピッチ目、濡れている箇所はやはり滑る。1箇所足をスリップしたが無事抜けた。ここから上は開けており岩は殆ど乾いていた。どうやらこの先、行けそうな雰囲気。



1ピッチ目

1ピッチ目終了点で先行パーティーが抜けるのを暫く待って2ピッチ目の開始、途中取りたいスタンスが濡れており、慎重に登る。K井さんからアドバイスを貰いながらここまでは順調。さて核心の3ピッチ目。どの先行パーティーも手を焼いていた。さて自分はどうかろう、クラックをジャミングで攀じ登り、核心部分に着いた。右側がスラブ、左側がフレアしている広めのクラックで、右手右足の手掛かりが乏しく左手のハンドジャムも思った程効きが良い。ちなみにクラックの中は濡れている。体を上げようとするがどうも落ちそうだ。右スラブに突っ張っていた右足が苦しくなってきた。まずい、これは失敗するパターン。少し降りて仕切り直し。右のスラブには丁度いい位置にハンガーボルトが上下に2個設置されており、おまけにロープリングが付いている。甘い誘惑を振り切りもう1度トライ。どのくらい時間が経っただろうか（核心に着いてから10分位??）覚悟を決めて右足をスラブの小さい窪みに引っかけて体を上げる。上のガバに手が届いて体を引き上げて核心をフリーでクリア。駄目だと思ったが、あきらめないで良かった。



3ピッチ終了点の大テラスに着き、K井さんをビレイして迎え入れる。「ナイストライ!」と声を掛けられ、気分は上々。國井さんは核心部で体を右スラブに正面向いてしまったとのことだが、さすが短時間で登られていた。ここでしばし休憩。

核心部は過ぎたが気を抜かずに、4~6ピッチに登る。各終了点で先行パーティーを待ちながらのため時間を要した。難しい所はなく高度感が出てきて、爽快なクライミングができた。おまけの7ピッチ目を歩いて、登攀終了点に到着。握手を交し、シューズを履き替え、西岳頂上まで移動する。頂上には先行パーティーの二人組がおられ、念願の記念写真を撮ってもらった。



中央稜取付きで岩が濡れていた時は、どうしようかと悩んだが、天気を持ちこたえてくれて岩もおおよそ乾き、陽が出ると暑いくらいだった。初級マルチピッチルートとはいえ、全ピッチリードは体に堪えた。その分充実したクライミングができたと感じる。

K井さんに感謝すると共にお疲れ様でした!

### 《おおよそのコースタイム》

股峠 9:30~中央稜取付き 10:15~中央稜 1ピッチ目開始 12:00~西岳山頂 15:50~股峠 16:30

(了)